

# 成人T細胞白血病（ATL）の新規治療薬開発 ～NEDD8活性化酵素（NAE）阻害剤の有効性～

演者：池辺 詠美 先生

国立感染症研究所 次世代生物学的製剤研究センター第2室 主任研究官

2023年1月30日（月） 4:00PM-5:00PM  
ハイブリッド開催

テレカンファレンスルーム（臨床研究棟2F）  
オンライン（Zoom）

※会場の座席数には限りがあり、先着順となります。

対象：教育職員、医学系大学院生、研究者等

事前参加登録

<https://forms.gle/9oc52VxmzhXv5ct1A>



成人T細胞白血病（ATL）は、HTLV-1ウイルス感染によって引き起こされる極めて難治性の血液腫瘍疾患であり、既存の化学療法に対しては抵抗性を示すことが多いため、作用機序の異なる新規治療薬の開発が強く求められている。

我々は、ATL細胞ではNF- $\kappa$ Bが恒常的に活性化されている点に着目して治療薬の開発を進めており、これまでに複数の化合物の抗ATL効果を明らかにしている。NF- $\kappa$ B抑制性タンパク質であるI $\kappa$ B $\alpha$ のプロテアソーム分解にはNEDD8活性化酵素（NAE）が深く関与することから、NAE阻害剤はNF- $\kappa$ Bを不活性化するターゲットとして期待される。

本セミナーではこれまでに抗ATL効果を明らかにしてきた化合物と、現在有効性の検証を進めているNAE阻害剤の臨床サンプルや、ATL細胞を免疫不全マウスに異種移植したモデルマウスを用いて行った検証結果について紹介する。

世話人 伊波 英克（グローバル感染症研究センター准教授）

セミナー問合せ先

大分大学グローバル感染症研究センター総務係（5409）

The seminar will be held in Japanese.